

まちのきこり人育成講座 活動報告

実践間伐『大径木間伐と造材』

作成 大河内 2010 年 10 月 3 日

1. 開催場所 : 三重県亀山市向井「F 1 の森」
2. 開催日 : 2010 年 10 月 3 日 (日) 午前 9 : 00 ~ 15 : 00
3. 参加者 会員 : 、大石、裏川、大河内 (敬称略)
一般参加者 2 名 計 : 5 名

4. 講師 大河内、大石 (補助指導員)

5. 内容

樹高約 20m、伐根直径 30cm 超を含む大径木の間伐講習会を実施。

使用する道具は、チェーンソー、フェリングレバー、木回し、10mロープ、鳶のみで、原則一人で伐倒。

講師は、伐倒木の重心の見方、伐倒方向の決め方、伐倒方法、掛かり木の処理の方法について指導。伐倒後は、玉切り、枝払いについても指導を実施。

今回は、受講者には伐倒前に木の重心と伐倒方向について宣言してもらい、その通り倒せるかどうかを意識して進めてもらった。「結果オーライは、結局失敗」を肝に銘じて取り組んでもらった。

受講者においては、前回の様な強力な力が出るチルホールが使えない状態であったため、非常に緊張した中での講習会であったと思われる。

3 人の受講者が一人ずつ交代で慎重に伐倒に取り組んだ。数をこなすのではなく、1 本 1 本十分に時間を掛けるという姿勢で、よく考えて取り進めていた。

最終的には、1 人 3 本、合計 9 本の伐倒を行った。各自の最後の 1 本は非常に難しい木 (重心の位置が良く分からない木、急斜面での伐根直径 35cm 超の木 × 2) であったが、講習の締めくくりに相応しい見事な伐倒であった。

また、急斜面での伐倒では、倒れていく木の速度、重量感などから、伐倒作業は危険を伴う作業であるということについても改めて十分に感じ取ってもらえたようで、今回の講習会の大きな成果の一つとなった。



↑ 大径木の伐倒に臨む受講者 ↑

↑ 受講中の一コマ

↑ 近くで活動中の“森林の風”
メンバーと写真

“森林の風”は安全、マナー・ルールを優先します。

まちのきこり人育成講座は、平成 22 年度 三井物産環境基金の助成を受けています。